

図書館通信



あけましておめでとうございます
今年もよろしくお願ひいたします



状況により変更・中止する場合は
ホームページやX(旧twitter)で
随時お知らせします。

1月のイベント

●正月レシートおみくじ

日時：1月4日(土)開館中

内容：新年最初の開館日に資料を借りると、レシートにおみくじがついています。結果によって「いっと紙幣」をプレゼントします。

●いっとくんしおりプレゼント

期間：1月19日(日)～※なくなり次第終了

内容：いっとくんの誕生日である1月19日に資料を借りた方に、オリジナルしおりをプレゼントします。(なくなり次第終了)

●ダンボの会のおはなし会

日時：1月26日(日)10:30～(50分程度)

内容：ボランティアによる小さい子向けの絵本の読み聞かせです。お気軽にご参加ください。

お問い合わせ：市貝図書館 ☎68-4380

★読み聞かせボランティア

「ダンボの会」が表彰されました★

市貝図書館で定期的に絵本の読み聞かせイベントを実施している「ダンボの会」が、令和6年度(公社)読書推進運動協議会会長表彰 優良読書グループとして表彰されました。ダンボの会は、市貝図書館の開館に合わせて平成3年に発足し、長きに渡りたくさんのお子さんに絵本の読み聞かせを行ってきました。これから益々のご活躍をお祈りしています。



市貝町立図書館

〒321-3423

栃木県芳賀郡市貝町市塙147

Tel 0285-68-4380

URL <https://www.library.ichikai.tochigi.jp/>



ホーム
ページは
こちら



ホームページでも図書館通信を見ることができます

X(旧ツイッター)
でも情報配信中!



市貝町立図書館
『いっとくん』
@ittokun_ichikai



★開館時間 9:30～19:00★



★利用者アンケートにご協力をお願いします★

1月4日(土)～1月30日(木)の期間、館内において図書館アンケートを実施いたします。皆さまの意見を参考に、さらに利用しやすい図書館を目指します。ご意見ご要望お待ちしております。

いただいたご意見への回答は、次年度に館内に掲示する予定です。



★不用本を募集しています★

2月22日(土)～2月24日(月)に、図書館で除籍となった本・ご家庭の不用本の「古本リサイクル市」を開催します。「もう読まないけど捨てるのは惜しい」本がご家庭にある方は図書館にお持ちください。

募集期間：1月30日(木)まで

募集図書：一般書・児童書・コミックス

※状態の酷いもの(汚れ・カビ・破損・虫食いなど)がある本はお受け取りできません。
※一度寄贈いただいた図書は原則として返却できません。



図書館カレンダー

1月						
日	月	火	水	木	金	土
			1 年始休館	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31※	

2月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28※	

■…休館日 ※月末資料整理日

1/19は
いっとくんの
誕生日です★

★季節の工作会

「ポンポンでひなまつり工作！！」 の参加者を募集します★

日時：2月8日（土）14:00～
（1時間30分程度）

場所：2階 企画研修室

内容：ひな祭りの工作を楽しみます。

対象：小学生まで

（小3までは保護者同伴）

定員：8人

受付：1月7日（火）～

※定員になり次第終了

申込：カウンター・お電話



お問い合わせ：市貝図書館 ☎68-4380

★蔵書点検の不明資料について★

11月に実施した蔵書点検で、6点の不明資料がありました。内容についてお知らせします。

【一般書】4点

「君が手にするはずだった黄金について」

小川 哲 // 著（新潮社）

「風の万里黎明の空 上・下」

小野 不由美 // 著（新潮社）

「凶南の翼」

小野 不由美 // 著（新潮社）

【児童書】1点

「ふしぎ駄菓子屋銭天堂 ⑫」

廣嶋 玲子 // 著（偕成社）

【郷土資料】1点

「統計からみたわたしたちの郷土（平成28年）」

（栃木県統計協会）

図書館の資料は、町民の皆さまのものです。今後
も責任を持って追及してまいります。

今月の スタッフおすすめ本

一般書

「こじらせ文学史」

堀江 宏樹 // 著

（ABCアーク）

「こじらせ」をテーマに文豪たちの人生を読み
解きます。

「職場でいじめられて引きこもる紫式部」

「失恋で電撃出家の西行法師」

「美少年すぎて人生が狂った井伏鱒二」

「極度の潔癖症の泉鏡花」

「仕事が死ぬほど続かなかった江戸川乱歩」

「芥川龍之介が好き過ぎた太宰治」

「借金をしないと書けない文豪バルザック」

「シャーロック・ホームズを書きたくなかった
コナン・ドイル」

文豪たちの挫折、劣等感、執着の「こじらせ」
から、彼らの才能は開花し、後世に残る名作が
生まれます。古典・名著をよりディープに楽し
める一冊です。

（スタッフ：バムちゃん）

児童書（低学年向け）

「あおぞらこども食堂はじまります」

いとう みく // 作

（ポプラ社）

こども食堂ってどんなところ？みんないっしょにごはん
を食べたり、本を読んだり、おしゃべりしたり。この本の
なかに出てくる「あおぞらこども食堂」でも、ハルさんの
おいしいごはん、やさしい笑顔で集まる人たちの輪が広
がっています。みなさんの住む町にもこども食堂はありま
すか？気軽に遊びに行ってみてくださいね。

（スタッフ：ぴっぴ日和）

YA（中高生向け）

「親子で楽しむ 星空の教科書」

渡部 潤一 // 著

（講談社）

冬の星や月がきれいに見えるのは、風が強い日が多く湿度
も下がり、大気の透明度が増すからと言われてしています。冬の
星座の代表格、オリオン座。その周りにも有名な星座がいっ
ぱいです。私事ですが、帰り道に通る続谷～羽仏地域の星空
がとてもきれいだなと思っています。寒いですが少しの時間
だけでも庭やベランダで夜の星空を楽しんでみませんか？

（スタッフ：ちょこわんこ）

皆さんは、このような経験はありませんか？例えば、高木を高木と書かれること、昭一なのに
正一と書かれること。同じように「澤」を「沢」と書かれること。県の団体活動をしていく中で、
レクリエーションをリクリエーションやレクレーションと書かれたとき、寂しく嫌な気持ちにな
ります。名前や団体名などは、その文字にした思いやその名称にした背景があるのです。作曲家
の團伊玖磨さんは、「団」とかいてある郵便物は受け取らなかったという伝説もあります。こた
わっていましたよね。

一昨年暮れに、3年間使用できる新しい手帳を買ったところ、宣伝用の紙片が挟んでありま
した。≪「幸せ」という字、逆さにしても幸せなんだね≫手帳メーカーが募った“いい言葉”の
優秀作らしい。転んでも幸せは逃げないよ、と告げています。キャッチフレーズがいいですね。

私も仕事柄「しょうちゃんのひとりごと」や「顧問一押しの一冊」など、様々な原稿を書く機
会があります。気を付けているつもりですが、時々「ここのところの文字の使い方、ちょっとお
かしいと思いますが…」などと指摘される時があります。我が図書館のスタッフたちも、その点
いろいろと気遣いをし、字の間違いをしないよう惜しまず取り組んでくれています。

心しなければならぬことだと思ふこのごろです。



ひし
しょう
ちゃんの
ひとり
ごと